

## 4 月定例記者会見 市長原稿要旨

はじめに、『文化財説明板を新たに 2 基設置』に関する情報提供です。

このたび、市内にある文化財の説明板を新たに 2 基設置いたしましたので、ご報告いたします。

1 基目は、県立竜ヶ崎第二高等学校の隣にあります市民遺産「鹿島神社の仙台藩関係石造物」で、2 基目は、撞舞広場にあります、国選択・県指定無形民俗文化財「龍ヶ崎の撞舞」です。

それぞれの説明板には、わかりやすい解説文と写真を複数掲示しておりますので、初めて訪問した方にもご理解いただける内容となっております。

お時間のある時に、ぜひご覧いただければと存じます。

また、4月9日(土曜日)に教育委員会が行った馬場台第二遺跡の発掘調査現地説明会にも多くの市民の皆さまにご参加いただいたと伺っております。

市民の皆さまの地域の歴史や文化財への関心の高さを再認識したところです。

今回の説明板設置は、市民の皆さまが市内にある文化財への関心をさらに深め、活用できる機会になるものと考えております。

説明板を目印に文化財を巡りながら、新たな発見を通してお気に入りのスポットを増やしていただければと思います。

次に、『PR 冊子配布』に関する情報提供です。

本市では、市を PR する動画の制作をはじめ、定住促進に関する龍ヶ崎の魅力発信を、市民の皆さまと一緒に取り組んでおります。

今回、市民参加型の取り組みの一つとして、龍ヶ崎の暮らしをデータと市民の声で紹介する PR 冊子『#(ハッシュタグ)龍ヶ崎で暮らす』を制作し、本日、4 月 27 日から配布を開始いたしました。

16 ページで構成される PR 冊子では、龍ヶ崎での暮らしをイメージしやすいよう、数値によるデータで本市の居住環境や教育環境の特徴を紹介しています。

さらに、市民インタビューのページでは、県外から本市に移住された 2 組の家族に加え、市内で暮らす方、働いている方、14 名が様々な年代・立場から、龍ヶ崎の魅力を語っています。

子育て環境を中心とした魅力が十分に詰まっている 1 冊となっています。

ぜひ、多くの方にお手に取っていただき、本市に遊びに来ていただいたり、住んでみたいと思ったりするきっかけになればと考えております。

最後に、その他の情報提供です。

1 点目は、本市の新型コロナウイルス感染状況についてです。

本市の感染状況は、2 月・3 月と比較すると減少傾向が見られ、ここ 1 週間で平均 18 人程度となっており、感染者が一桁の日も見られます。

一方で、新型コロナウイルスは次々と変異を繰り返しており、ゴールデンウィークを迎えるに当たり、外出や人と接する機会が多くなると考えられます。

市民の皆さまには、引き続き、マスク着用、手指消毒、3 密回避など、基本的な感染症対策をお願いいたします。

2 点目は、本市の新型コロナワクチン接種についてです。

3 回目追加接種の接種率は 4 月 25 日時点で 67.5%であり、2 回目接種完了時期が早い方から順次接種が受けられるよう進めております。

また、本市では、ワクチン接種予約者の減少に伴い、集団接種体制の規模を縮小します。ニューライフアリーナ龍ヶ崎では 4 月 21 日(木曜日)から午前のみの実施としており、龍ヶ崎済生会病院では 5 月 1 日(日曜日)をもって終了とします。

なお、協力医療機関での個別接種については、継続実施します。

今後も、国及び県の方針に基づき、龍ヶ崎市医師会の先生方をはじめ関係機関の皆さまのご協力をいただきながら、接種を希望する方が速やかにワクチン接種を受けられるよう、進めてまいります。